

昭和初期における飛驒川の川狩り

～ある日雇の日記から～

安田 守

A Glimpse of a Lumberman's Daily Life and Work in the Hida River
Around the Beginning of the Showa Era (1928 and 1931).

～a popular introduction to a diary of a daylaborer engaged in
conveyance of lumbers down swift currents and river without rafting～

Mamoru YASUDA

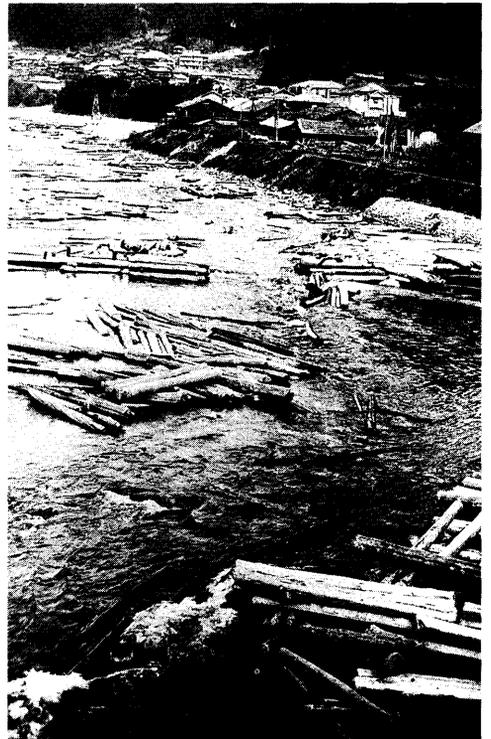
鉄道や自動車交通が発達する以前には、河川が物資の輸送に大きな役割を果たしていた。なかでも重量が大きくかさのある木材の輸送には、全国的に河川が利用された。

飛驒の恵まれた森林は、江戸時代から本格的な開発が行われるようになり、切り出された木材は飛驒川の本支流を利用して流送された。山中で伐採された木材は、修羅しゆらや棧手さいで、木馬きんまなどによって谷川沿いの渡場どばに集められ、大川（本流）に至るまで谷川（支流）を流された。飛驒川へ出た木材は、下麻生（七宗町）の綱場まで流送され、ここで筏に組んで木曾川を下り、名古屋の白鳥貯木場などへ運ばれた。下麻生以北の飛驒川の本支流では、水量が足りなかったり急流であるため、筏流しはできず、木材を1本ずつ流れにのせて狩り下げた。この川狩りは、夏は洪水のため木材が流失する恐れがあるので、水量の安定する渇水期の冬に行われた。

川狩りに従事する日雇は、木鼻、木尻きじり、のべの3役に分かれ、木材とともに川を下っていった。先頭の木鼻は、川道を整備しつつ流送材の渋滞を防ぎ、水量が少ない上流部では要所要所に堰などの運材施設を作りながら進む。最後尾を受けもつ木尻は、木材を流した後の堰などをことごとく取り払って残り木のないよう狩り下げていく。途中岩にかかった木材ははずしたり、浅瀬に乗り上げた木材を流れにもどす仕事はのべがした。

飛驒川筋では、大正末期から昭和初期にかけて、電源開発と前後して高山線の建設が進められ、昭和9年10月岐阜・高山間が開通した。これによって、木材の流送は逐次鉄道輸送に切り替えられ、それとともに川狩りも次第に減っていった。

このたび久々野町久須母の故佐藤清一氏（1902～1982）の日記を見せていただく機会を得た。氏は若い頃から川狩りに従事された方で、日記の一部は、昭和初期の川狩りの様子を示す貴重な記録といえる。ここでは、昭和3年（1928）と昭和6年（1931）の日記から、川狩りに関連する内容をそのまま抄出する。



飛驒川の川狩り（下呂町付近） 小坂営林署提供

昭和3年

月/日	曜	日 記 の 内 容	作業場所	宿 泊 地
10/26	金	朝八時宅発足渚着十一時半頃。南吉三郎方に荷物置き出勤す。小昼前迄渚橋上付近木先作り。後は市村上にて木先作り。同夜は渚南吉三郎方投宿す。	久々野町渚	久々野町渚
27	土	三人渚橋より小原迄間の見回り。夕方五時出立宅着八時頃。	〃 〃	(自 宅)
28	日	(自宅で農作業等)		(自 宅)
29	月	朝七時宅発渚着十時半。午食し出勤す。渚橋下。夕刻木尻阿多粕出合い。	久々野町渚・阿多粕	久々野町渚
30	火	終日木尻追い。夕方松尾出合い。下ヤナバ少し残る。	小坂町松尾	〃 〃
31	水	朝宿替えにて門坂□に荷物置き長滝より鳩の巣にて木先作り。夕方悪瀬にて少し作り終る。当夜は小坂町大島田中拾太郎方に投宿す。	〃 無 数 原・大洞	小坂町大島
11/1	木	終日木尻作り。朝悪瀬よりフーキ屋止めより出合い大島上手。	〃 大洞・大島	〃 〃
2	金	終日小坂町裏大島橋下付近にて木先作り。	〃 大島	〃 〃
3	土	同じく木先作り。ヤナ場より田中瀬。	〃 〃	〃 〃
4	日	ヤナ場にて野辺を成した。夕方木尻来る。弁天様の処にて野辺を成す。	〃 〃	〃 〃
5	月	朝田中瀬アカデへにて少しあたりヤナ場より木尻追い。昼食田中瀬。夕方夫婦岩。	〃 〃 ・ 郷石原	〃 〃
6	火	朝宿替えにて荷物背負い宮田島尻止で木先作り。午後三時頃山之口出合いへ。本日〆切□成す。夜は羽根倉知方に投宿す。	萩原町宮田・四美	萩原町羽根
7	水	午前に山之口出合い橋架け四美方面に見回り羽根用水口にて午食す。午後上呂堤防の防備す。	〃 四美・上呂	〃 〃
8	木	終日上呂橋より萩原渡船場迄の見回り。	〃 上呂・萩原	〃 〃
9	金	朝上呂橋場より木尻追い。午食□水滝。夕方萩原渡船場上の瀬。	〃 〃 ・ 〃	〃 〃
10	土	御大□にて午後一時迄稼ぎ後は休み。萩原渡船場□也木尻。	〃 萩原	〃 〃
11	日	見回り。中呂橋より西上田。	〃 中呂・西上田	〃 〃
12	月	終日木尻追い。夕方木尻萩原益田橋下。	〃 萩原	〃 〃
13	火	宿替え。宿払い済まし七時頃発足し萩原下桧淵より木先作り。夕方木先中呂橋上。降雨激しく濡坊主になり当夜東上田遠藤旅館泊り。	〃 花池・中呂	下呂町東上田
14	水	朝中呂橋上にて重り引き。橋下にて少し矢作り午食す。千羽ホーキ下にて矢作り狩出し。堰堤へ少し行き来る。増水一尺。	〃 中呂・下呂町東上田	〃 〃
15	木	終日激雨。午後四時頃より増水三尺。堰堤下狩出し四時半頃終業す。終日木尻追い。堰堤より中呂橋回り帰宿す。	〃 西上田	〃 〃
16	金	朝少し見合せ七時頃より出勤す。終日木尻追い。宿替えにて下呂□□方に泊す。木尻本日夕方下呂学校下。	下呂町森	〃
17	土	終日木尻。大淵より三原崎ヶ谷の縦の木下。	下呂町小川・三原	〃

18	日	朝宿替えにて荷物背負い茂谷迄来り。終日木尻追い。夕方木尻は深谷下。夜は保井戸□□方に投宿す。	下呂町茂谷・門原	下呂町保井戸
19	月	終日木尻狩り。夕方木尻門原浅瀬下。	〃 門原	〃 〃
20	火	毎日の通り木尻狩り。夕方木尻瀬戸発電所払込み。明日山之口へ出材後援に趣く予定。	〃 瀬戸	〃 〃
21	水	自動車に乗車し上呂九時頃。山之口村に着午食す。当夜は川西村□山之口境伊藤仁太郎方に投宿す。夕方少し出勤す。大川橋より二三丁上木先。	萩原町尾崎	萩原町尾崎
22	木	終日二番木先作り。	〃 〃	〃 〃
23	金	終日木先堰作り。洞橋午食す。	〃 〃	〃 〃
24	土	午前中宿下に於て野辺。午後より自動車にて帰宅。	〃 〃	(自 宅)
25	日	(自宅で農作業等)		(自 宅)
26	月	午前八時出発。小坂〇時頃上呂一時。尾崎学校上にて小休す。午後四時宿着す。		萩原町尾崎
27	火	終日木尻追い。	萩原町尾崎	〃 〃
28	水	朝宿替えにて荷物を背負いて小字キビ生に来り。大坪盛三方に当夜宿泊す。終日二番木先作り。百六拾七号堰付近。	〃 〃	〃 〃
29	木	午前八時頃迄は二番木先作り。後は終日野辺をいたした。午後四時頃木先出合いへ着す。	〃 〃	〃 〃
30	金	昨日の処にて午前中野辺をいたした。午後より出合橋小杣淵にて小杣材引揚げをいたす。明日木尻出合い払い込みの予定。	〃 〃	〃 〃
12/1	土	木尻午後一時半頃迄に払い込む。払い込み酒頂戴し本流の木尻狩り。夕方四時半頃上呂橋下狩込みし終業す。	〃 上呂	〃 〃
2	日	宿替えにて荷物背負い上呂浅井屋方に預け大畑藪より木尻狩り。夕方木尻桜公園渡船場下瀬。夜は萩原町馬車宿熊崎友の助方に投宿す。	〃 桜洞	〃 萩原
3	月	朝宿替え。荷物を千羽保木に置き木先作り。午後一時半頃より堰堤に來り綱場作り。後は堰堤下にて土入を成す。夜は東上田古幡屋方に泊す。	下呂町東上田	下呂町東上田
4	火	中呂上より木尻狩り。午食中呂寺前。夕方木尻東上田堰堤狩込む。	萩原町中呂・下呂町東上田	〃 〃
5	水	終日木尻狩り。堰堤狩出して午食す。夕方木尻堰堤少し下。	下呂町東上田	〃 〃
6	木	朝宿替えにて荷物背負いて下呂町に來て山縣屋に置き山都義格方より木先作り。午食下呂学校前。午後小川神社下小午食し崎ヶ谷鉄道ピーヤ健設棺堰の所へ綱入れに行く。本夜は三原野村屋方に投宿す。	〃 森・小川・三原	〃 三原
7	金	朝三原上にて木先作り。午前は帶雲橋下にて木鼻作り。午後より崎ヶ谷□昨日入綱に浮き付け橋架く。夕方少々木材来る。	〃 三原	〃 〃
8	土	終日いた岩にて野辺を成した。		〃 〃
9	日	朝宿替えにて五時出発。深谷に荷物置き木先作り。午食なべ。夕方門原巻にて木先作り。	〃 深谷	〃 門原
10	月	朝深谷にてつまり抜き。増水一尺。後は木尻へ行くいた岩。午食後ワイヤを瀬戸迄引き行く。三時頃瀬戸着す。宿帰り四時十五分頃。	〃 〃	〃 〃

11	火	本朝は組員三名勘定にて帰途に就く。僕等は釣鐘より木尻狩り。午食□釜出合い。夕方木尻門原巻上ガキ。	下呂町釣鐘	下呂町門原
12	水	朝四時半宿出て保井戸下小野に荷物置き□終日木尻狩り。午食左近守上。夕方木尻保井戸裏。当夜は三ツ淵足立四郎方に泊す。	〃 門原・保井戸	〃 三ツ淵
13	木	ウルシ淵付近にて上和原近所の見回り。ウルシ淵近付に二三次つまる。午後四時頃終業。		〃 〃
14	金	午前中下原釜付近にて見回り。午後猪渡りにつまり抜く。□後木尻狩り。夕方木尻猪渡り上。	金山町中切	〃 〃
15	土	終日木尻狩り。午食下原釜。夕方木尻下原釣橋上。雨激しく濡らして午後五時頃帰る。	〃 〃	〃 〃
16	日	他の人達は皆々帰る。僕と上野、水口の三人下川狩りに行く可く荷物背負いて美濃の国加茂郡西白川村多嶋へ来り阿部由五郎方に荷物置き堰堤にて綱場作り。午後蛇穴に□綱入る。夜は岩佐組の衆と同宿す。鉄道線路を横行し過ぎ行く汽車を目送す。常勤四拾七圓□三銭の内金として拾圓受く。	〃 田島・白川町油井	金山町田島
17	月	終日新津多嶋発電所間の見回り。夜は岩佐組の勘定に少し招かる。	〃 〃 ・白川町新津	
18	火	終日佐見谷口より七宗橋間の見回り。夕方木尻発電所出合い。	白川町白山	
19	水	朝宿替えにて荷物背負いて下油井駅に來り七時三十二分発列車に乗車白川口駅着。荷物置き白石堰堤にて綱場作り。夜は白川口駅前白川屋方に宿す。	〃 下山	白川町河岐
20	木	午前中に昨日の堰堤綱場作り終り夕方迄野辺をいたした。今朝□□寒気強く辛かった。	〃 〃	〃 〃
21	金	上野、水口三人木尻狩りに行く九□巻。午食穴岩。夕方島の上巻狩込み。	〃 相模・島	〃 〃
22	土	終日木尻狩り。午食大利の綱場。夕方大利下鉄橋下。	〃 大利	〃 〃
23	日	終日木尻狩り。午食勘八下。小昼前に白川橋。夕方白川橋下堰堤水返り来る所。	〃 寒八・河岐	〃 〃
24	月	終日木尻狩り。午食白石堰堤。夕方堰堤下の瀬。明日宿替えの予定。	〃 下山	〃 〃
25	火	午前五時白川口発足し高槻シンコにてつまり抜き荷物背負いて加茂郡久田見村字平吉田屋旅館に荷物置き加知悪場ドンブリ終日ノベをいたした。	七宗町勝	七宗町平
26	水	朝中綱場にて先船を道路に引上げ(ノド)にてつまりを抜き後は昨日の処ドンブリにて終日野辺をいたした。明日限りにて切上げの者有る。	〃 〃	〃 〃
27	木	朝鳩の巢上にてつまりて抜き後午後三時頃迄鳩の巢にて野辺をいたした。三時頃来り上麻生発電所払い込み終了し切上げ本日限りにて終業。明日帰途に就く心算。本日限りにて切上げ夜十一時頃勘定。勤務日数十二人四ト。計拾四圓七八銭。	〃 戸刈	〃 〃

昭和6年

月/日	曜	日記の内容	作業場所	宿泊地
10/22	木	寺付飛州木材流送に行く起床四時九時頃寺付山下方へ着到。昼食し丁場へ行く。部落より約五丁程上流にて(のべ)をいたし夕方木先の舟に乗り宿の下迄来り上り。	朝日村寺附	朝日村寺附
23	金	終日寺付部落下にて木先作りをいたした。	〃 〃	〃 〃
24	土	終日木先追い。朝徳郷谷出会いより夕方寺付七八丁上釣橋付近。	高根村中洞・朝日村寺附	〃 〃
25	日	一日木尻追い。夕刻木尻黒川袖。明日万石へ宿替えの予定。	朝日村黒川	〃 〃
26	月	朝宿替えにて荷物背負いて万石の新井鉄之助方に置き大広付近より木先作り。小昼よりは万石六段淵にて切判調べをいたした。	〃 大広・万石	〃 万石
27	火	小昼前迄は上見御前橋上流にて野辺。後三時頃木尻来り付。木尻夕方青屋出会い。	〃 上ヶ見	〃 〃
28	水	一日木尻。六段淵にて午食。立岩□橋下小昼。夕方見座大橋上。明日は久々野村橋場久保田方へ宿替え予定。	〃 万石・立岩・見座	〃 〃
29	木	宿替えにて万石発五時柳島新井仁喜造方に荷物置き赤岩より木先作り。夕方久須母用水口。当夜は自宅に泊す。	久々野町大西・久須母	(自宅)
30	金	朝用水口より木先作り。夕方橋場牛丸土場にて鉋切り終了。久保田方に泊す。	〃 久須母・橋場	久々野町橋場
31	土	前八時頃迄牛丸土場下にて木先作り。後は反保橋下にて(のべ)をいたした。拾月勤務計九人五分。	〃 橋場・反保	〃 〃
11/1	日	終日反保橋下にて(ノべ)をいたして暮した。終日楽なりき。夕方反保橋下に木尻来る。	〃 反保	〃 〃
2	月	反保橋□より木尻一寸追いて橋場牛丸土場にて小柚上木也り終日。夕方木尻来る。夜は九時頃帰宿。	〃 反保・橋場	〃 〃
3	火	朝起床八時。橋場久保田方へ来りて午食す。後青年運動会見物に行き四時頃帰る。		〃 〃
4	水	朝宿替えにて荷物背負いて木賊洞に置きまわり淵下より木先作りをいたした。夕方大坊滝下方。夜は長淀下垣内竹二郎方に泊す。	〃 引下・大坊	〃 長淀
5	木	朝大坊滝にて木先作り。栃の木瀬上及び栃の木瀬にて木先作り。	〃 大坊	〃 〃
6	金	(トンビキ)悪場付近の大きい柵くづしをいたした。	〃 長淀	〃 〃
7	土	午前中(ドンビキ)にて柵くづし。後は栃の木瀬下付近にて仕事をした。	〃 大坊	〃 〃
8	日	朝ドンビキ悪場より木尻。夕方藤淵。	〃 渚	〃 〃
9	月	終日木尻。朝藤淵より夕方渚上手。明日門坂へ宿替えの予定。	〃 渚	〃 〃
10	火	朝五時宿発。松尾出会いに荷物置き木先作り。夕方柏原滝下。	小坂町松尾・柏原	小坂町門坂
11	水	朝柏原滝下にて木先作り。後は柏原滝にて堰作り。午より岩崎橋場上にて同じく木先作りをいたした。	〃 柏原・岩崎	〃 〃
12	木	腹痛のため終日休む。前に小坂町村へ遊びに行きて後は一日遊ぶ。		〃 〃

13	金	長滝柏原滝間の見回りをいたした。	小坂町無数原・柏原	小坂町門坂
14	土	小昼前迄木先作り。無数原橋下悪瀬より落屋止め。落屋止めにて少し狩出し後立岩にて重りを引く。	〃 〃 ・大垣内	〃 〃
15	日	朝柏原滝より木尻。午食やな瀬上。夕方岩崎橋場少し上流。	〃 柏原・岩崎	〃 〃
16	月	一日木尻。夕刻木尻長滝中程堰程追う。明日坂下へ宿替えの予定。	〃 無数原	〃 〃
17	火	朝宿替えにて坂下田立由太郎方に荷物置き小坂出合い下より木先作り。夕方吾石原夫婦岩下。	〃 大島・郷石原	〃 坂下
18	水	午前中小坂出合いより木尻。後は白石にて野辺をいたした。	〃 〃 ・萩原町宮田	〃 〃
19	木	午前中白石にて野辺をいたした。午より腰細にて妻利抜きをいたし午後二時半頃は同じく白石にて野辺をいたした。	萩原町宮田・大ケ洞	〃 〃
20	金	朝宿替えにて荷物背負いて発足し宮田にて木尻との□にて吾石原下白石より木尻追い。夕方赤岩にて日暮れ皆々立腹し萩原へ六時半到着。今善方に投宿す。	〃 〃 ・奥田洞	萩原町萩原
21	土	久津神社前上より木先作り。夕方益田橋下にて終業す。	〃 上呂・萩原	〃 〃
22	日	朝萩原町裏の堤防防備し(コチヨ)悪場上下にて木先作り。	〃 萩原・跡津	〃 〃
23	月	終日久津神社前上流より木尻追い。夕方古関上ドス測。	〃 上呂・古関	〃 〃
24	火	一日木尻。夕方桧測。	〃 花池	〃 〃
25	水	終日木尻追い。夕方中呂禪昌寺前。	〃 中呂	〃 〃
26	木	宿替えにて荷物を下呂上の鉄橋詰に置き終日木先作り。夕方湯の淵の上。夜は下呂塚田松村旅館方に投宿し湯入に行く。	下呂町	下呂町森
27	金	朝少し木先作り。一寸(けがし胸を)湯の淵にて(のべ)をいたした。木先六都美橋上手。	〃 森	〃 〃
28	土	六都美橋下より木先作り。午食中川下尻留作りて。小昼は藤ヶ瀬で切り。後は六み橋付近脇堰の重りを引く。	〃 〃	〃 〃
29	日	朝一寸下呂小川押し付にて木先作り。山下滝上の(アテガイ)にて野辺をいたした。	〃 小川	〃 〃
30	月	午前中に東上田整骨医へ行く左胸部。午より出勤す。小川付近の野辺。夕刻木尻小川出合い。帰省する可きかと思えども復々行下流へ。拾壹月勤務計二十八人。	〃 〃	〃 〃
12/1	火	朝宿替えにて下呂発五時半。咲ヶ谷に荷物置き箱岩より木先作り。夕方釣鐘。夜は門原田口代三方に泊す。	〃 釣鐘	〃 門原
2	火	終日梅ヶ平三ツ石にて野辺をいたした。	〃 梅ヶ平	〃 〃
3	木	昨日の処にて終日野辺をいたした。夕方木尻三石へ来り終業。	〃 〃	〃 〃
4	金	午前中門原鍋悪場にて野辺。午より門原左近の守正面少し上流にて野辺をいたした。木尻三石より門原巻の上(ガキ)払い。	〃 門原・梅ヶ平	〃 〃

5	土	朝宿替えにて宿発五時頃。草ナギにて荷物置き橋架けて野辺をいたした。夜は三淵安達四郎方に泊す。	下呂町三ツ淵	下呂町三ツ淵
6	日	終日草ナギにて野辺をいたした。本日で二日。木尻和佐谷出合い下。	” ” ・ 瀬戸	” ”
7	月	終日下原釜悪場にて野辺をいたした。夕方中釜につまる。	金山町中切	” ”
8	火	終日下原釜悪場の野辺。夕方木尻来る。本日限りにて切上げ。	” ”	” ”
9	水	焼石駅から帰宅。		(自 宅)
23	水	川狩りの金拾三円受領。		(”)

※ ゴシック文字は地名等を示す。作業場所と宿泊地は現在の地名に置き換えたもので、不明のところは空欄にしてある。

最後に、貴重な日記を拝見させていただくとともに、多大のご助力をいただいた佐藤碩恭氏に深く感謝いたします。また、聞き取り調査でお世話になった江間重雄氏にお礼申し上げます。